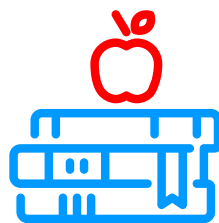
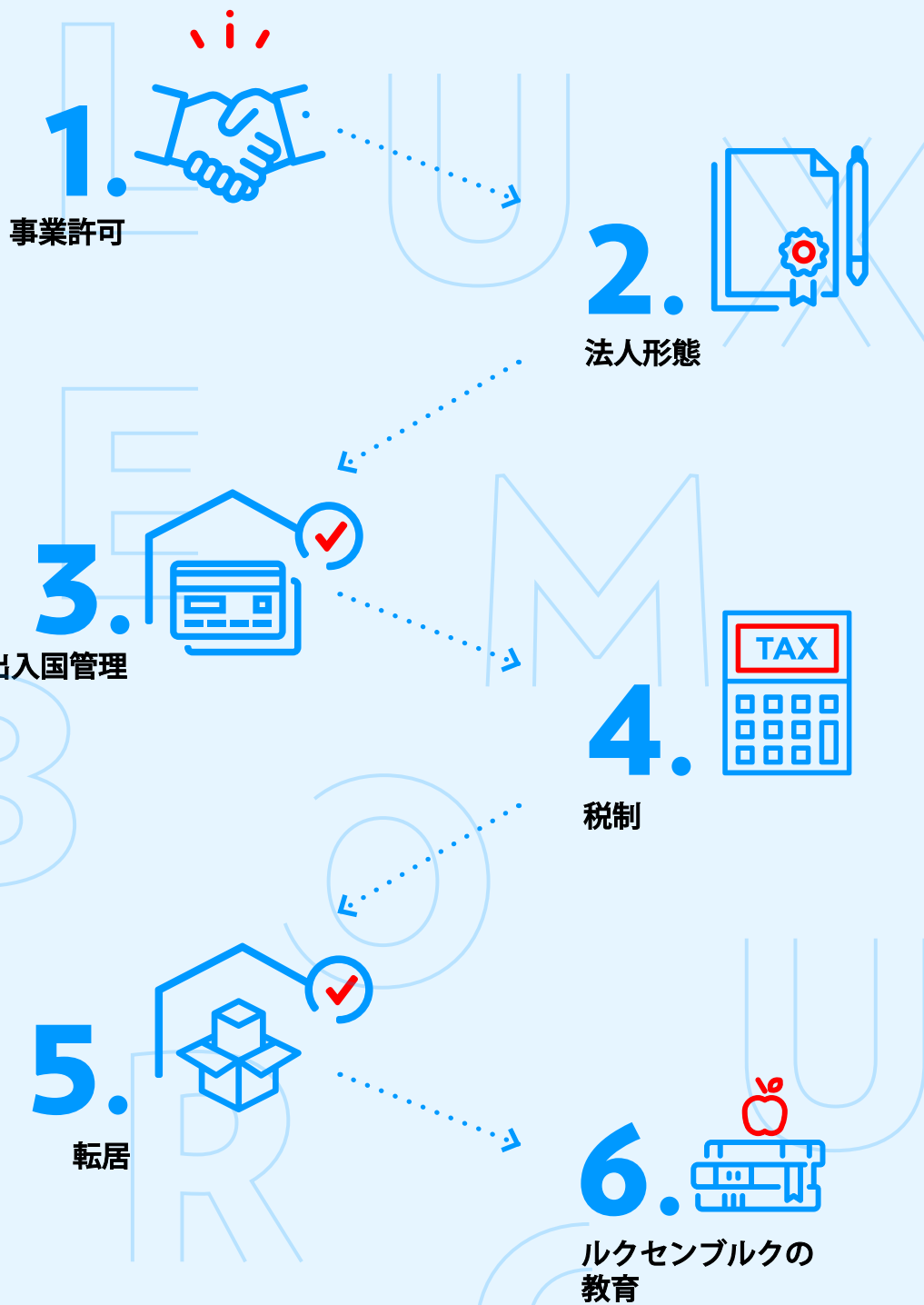




ルクセンブルクで
事業を立ち上げる
2018



ルクセンブルクで 事業を立ち上げるには



1. 事業許可



ルクセンブルクで事業を行うには所定の政府認可を取得する必要があります。
事業許可の取得を要するのは商業、技能職、産業活動、及び一定の自由業です。

商業活動

事業許可は、継続的かつ持続的な事業活動を設立するための権利を対象に経済省より発行されます。そのような活動をルクセンブルクで行うには、申請者は事業者として相応しい資質と心構えについての一定条件を満たし、また国内に恒久的施設を有することを示す必要があります。事業者の資質として要求されることはその事業の性質によって異なり、会社経営の基礎知識から具体的な職業資格や大学教育まで幅があります。

商業活動について最も一般的な事業許可が関係するのは取引活動（卸売り、小売り、商業サービスの提供、本来的には知的サービスで商事会社により提供されるサービス、産業活動）です。経済省は投資助成金による支援も行います。

その他の活動規制

規制の対象となる活動にはさらに追加の職業資格や認可が要求されます。例えば金融機関及びフィンテック企業はCSSF（金融セクター監視委員会）により監督されます。労働者や一般市民、及び環境に影響を与える可能性のある事業を行う企業には特定の営業許可が要求されます。これは通称「commodo/incommodo」免許と呼ばれています。その他の機関、例えば健康省やルクセンブルク弁護士会などは、ある特定の種類の活動を規制監視しています。

ルクセンブルクでの事業設立を完了するには、ルクセンブルク商業登記所と合同社会保障センターへの会社登記、及び税務署への登録をする必要があります。

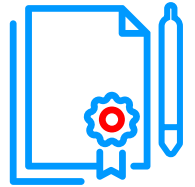
労働生産性 世界第1位（労働1時間当りのGDP）

出展：2017年 KOFグローバル化指数

GDPパフォーマンス 世界第1位（労働1時間当りのGDP）

出展：2016年 Statista

2. 法人形態



起業家にとって大切なのは、事業の規模や性質に関わらずそのプロジェクト（個人事業主または事業会社）に適した法的形態を選択することです。

個人事業主

個人事業主になるということは個別の法人を設立するのではなく、自然人として事業を立ち上げることを意味します。対応はより柔軟で、立ち上げのための行政手続きの数と費用は最も少なく済みますが、一方で起業家の個人資産と商業用資産の区別がないためリスクは最大になります。

事業会社

リスク低減のため、多くの起業家は個人資産と商業用資産を厳格に区別する会社設立を選択します。この場合、共同経営者の負債はそれぞれの貢献額が上限とされます。資本会社も非個人的な性質を持ち共同経営者の出資に主に依存します。最も一般的な会社形態は以下の通りです。

- 株式会社（SA）は公正証書の作成により設立されます。必要最低資本金は3万ユーロ、設立時にはそのうち25%（7,500ユーロ）までの払い込みが必要です。株式会社の形態は新規株主による出資や資本市場へのアクセスが容易です。

- 有限責任会社（SARL）も公正証書の作成により設立されます。必要最低資本金12,000ユーロを設立時に全額払い込むことが必要です。初期株主株は自由に売買することができないため、初期株主には株の所有権に対しより大きな支配権が付与されることがSARLの利点です。
- 簡易有限責任会社（SARL-S）を設立できるのは自然人に限られます。公正証書の作成により会社が設立できます。必要最低資本金は1ユーロから12,000ユーロ、設立時に100%までの払い込みが必要です。

会社形態はこの他にもありますが、あまり多くは存在しません。全ての個人事業主と事業会社はルクセンブルク商業登記所に登記しなければなりません。

2017年12月31日時点で株式会社会社の登記数は約8,500

出展：2018年 Statec

2017年12月31日時点で有限責任会社の登記数は18,000以上

出展：2018年 Statec



3. 出入国

第三者国籍（EEA国、つまりEU加盟国、アイスランド、ノルウェー、リヒテンシュタインまたはスイス連邦、以外の人）で3ヶ月（90日）を超える期間ルクセンブルクに滞在を予定する人は、入国前に居住許可を申請しなければなりません。

居住許可

居住許可申請はルクセンブルク外務・欧州担当省の出入国管理総局宛てに送付しなければなりません。許可申請は従業員、個人事業主、学生、インターン、研究者、家族のいずれかで行うことができます。

3ヶ月以内の滞在の場合、担当相により明確な許可を受けている場合を除き、第三者国籍者は従業員または個人事業主として活動することはできません。ルクセンブルクで個人事業主としての事業設立を希望する第三者国籍者は様々な条件を満たす必要があります。

申請方法

入国前にしなければならないこと：

- 外務・欧州担当省の出入国管理総局に申請書を提出すること
- 有効期間内のパスポートを所持すること

以上により仮の滞在許可証を受領することができます。仮の滞在許可を受けた後は必要に応じ長期ビザ（タイプD）を申請します。

入国後にしなければならないこと：

- 居住地域の自治体に対する到着の申告
- 健康診断の受診
- 80ユーロの支払い証明を提出

以上の手続きが終わると最終的な居住許可の受領を許可する旨が書面で通知されます。

ルクセンブルクの概要：

仕事での転居先として世界で3番目に魅力的な都市

出展：2017年3月 AIRINC

海外出向者がキャリアを積む上で最善の地

出展：2016年 海外で働く海外出向インサイダー指数

労働人口の73%が外国籍

出展：2017年5月 Statec

EU内で最も国際的な国

出展：2015年 Eurostat

4. 税制



ルクセンブルク政府は最近、以下3点の狙いで税制改革を推し進めました：
公平性、持続性、競争力

法人税法

法人税は過去数年をかけて低減、2018年には18%になりました。加えて法人企業には雇用基金と地方事業税があります。会社はそのバランスシート全体とバランスシート上の金融項目に基づき資産税を支払わなければなりません。

知的財産

新しい知的財産税制では適格収入の80%が課税控除されます。この制度は支出が適格資産とその資産により生じる収入に直接関連していなければならないというネクサス・アプローチに基づいています。一般的に特許と著作権に守られたソフトウェアはこのスコープに入りますが、商標は除外されます。

個人所得税率

ルクセンブルクにおける自然人の所得税率はヨーロッパで最も低く、カップルの場合は顕著です。所得税は23段階の累進課税で、最高限界税率は2017年以降42%になっています。

ルクセンブルクにおける個人の税負担は収入と家族構成で決まります。OECDによると子供2人の共働き夫婦（それぞれが平均給与の100%と67%の場合）の総合税率は社会保障負担を含み26%です。

社会保障

ルクセンブルクの社会保障制度は疾病、妊娠、障害、死亡、年齢、及び就業中と就業のための通勤途中の事故に関わるリスクをカバーします。

全ての会社は業務申告書と雇用開始申告書を作成し合同社会保障センターに提出する必要があります。

社会保障費はグロス給与の25%です。グロス給与の16%分は年金保険に当てられます。この準備引当て金（社会保障費負担全体に含まれる）の半分は雇用主が負担し、残りの半分は従業員の給与から直接差し引かれます。

80を超える有効租税条約の広範なネットワーク、また20以上が現在交渉中。

ルクセンブルクのサービスに係る付加価値税率は17%とEUで最も低い。

5. 転居



ルクセンブルクは居住地として魅力があり、素晴らしいワークライフバランスを提供してくれます。通勤時間が短いため健康的でバランスのとれた家庭生活と社会生活を保つことができます。

住居探し

ルクセンブルクには不動産市場に関する様々な情報源があります。ルクセンブルク住宅概況ポータルには立地に応じた不動産価格が賃貸と購入の両方で掲載されています。数多くのウェブサイト、不動産会社、リロケーション会社があり、不動産探しを手伝ってもらうことができます。

リロケーション会社

リロケーション会社はルクセンブルクに転居する外国人の行政手続きのサポートや個別のアドバイス、支援をしてくれます。それらの会社は多言語の話せるメンバーを揃え、外国人出向者が楽にルクセンブルクに転居し暮らさに慣れるよう、移動のお手伝いや手続き書類の作成サポートをします。

あなたの事業の本拠地

ルクセンブルクには多くのオフィスの選択肢があります。

産業団地やビジネスパークには会社用の更地や設備を備えた建物が揃っています。

ルクセンブルクには公立または民間のビジネスインキュベーターが数多くあり、会社のオフィススペースとして活用できます。その大半は特定の事業分野の活動やイノベーション、テクノロジーにフォーカスしています。インキュベーターの支援を受けるには申請手続きを踏む必要があり、一般的には事業計画の提出、インタビュー、委員会の最終選考の手順が含まれます。

生活の質 第18位

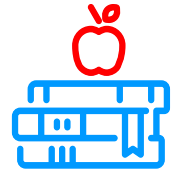
出展：Mercer 2018年生活の質調査

世界で最も安全な都市 第1位

出展：Mercer 2016年生活の質調査

世界で2番目にストレスのない都市

出展：Zipjet 2017年世界で最もストレスのない国、ある国ランキング



6. ルクセンブルクの教育

ルクセンブルクでは人口が急速に増加し、就学中の生徒の60%以上が外国人のため、より多くの外国人生徒を受け入れるための教育サービスが国全体で拡大しています。

保育

保育サービスは、手頃な料金と多言語対応、午前7時から午後7時までの利用時間に加えて、短い通勤時間で親の暮らしを楽しんでいます。ルクセンブルクには現在500を超える公立、私立の保育所があります。2017年以降は子供1人につき毎週20時間までの保育サービスが無料で受けられるようになりました。

小中高等学校

国際的な労働人口を抱えるルクセンブルクでは長年の実績がある多様な公立校（無料）で教育が受けられます。また私立学校ではインターナショナルバカロレア、欧州バカロレア、フレンチバカロレア、イギリスAレベル、ドイツAbitur、ルクセンブルクマルチリンガルバカロレアを取得できます。

高等教育

2003年創立のルクセンブルク大学は、多言語でインターナショナル、そして研究を中心としています。同校には3つの学部と3つの学際センターがあります。

- 理学・工学・通信学部 (FSTC)
- 法律・経済・ファイナンス学部 (FDEF)
- 言語・文・人類・芸術・教育学部 (FLSHASE)

- 安全・信頼・信用学際センター (SnT)
- ルクセンブルクシステム生体医薬センター (LCSB)
- ルクセンブルク近代史・デジタル史センター (C²DH)

ルクセンブルク大学は世界の60の大学と提携しており、学部生は最短でも1学期間を国外で過ごすなければなりません。また同大学では2年間、3国間を跨ぐ学士号、修士号の取得制度もいくつか設定しています。

数多くの外国の大学もルクセンブルクにキャンパスを作っています。ルクセンブルクの学生にはヨーロッパ中各地の大学に進学する幅広い選択肢があります。

EU国の中で国民が話す多言語の平均数
第1位 (3.6 言語)

出展: Eurobarometer

労働人口の41%が高等教育を履修

労働者1,000人に占める研究者数
7.12人